



今月のみさとし/先祖の延長は私であり、私の延長は子孫である。(『ご聖訓』第一巻増補版 17頁)

第83回 太陽精神碑建立記念祭

祖先の建国への思いを偲びつつ

建国記念の日である2月11日、各地でまん延防止策が適用される中、令和4年最初の六次行事、第83回太陽精神碑建立記念祭が御霊地で開催され、全国の会員代表が参集し、国恩感謝を捧げた。



第1部・太陽精神碑前之儀 岡野理事長が奉告文を奏上



第2部・記念式典で誓願文を奏上する岡野理事長



式辞を述べる岡野理事長



祖先の聖勞に思いを馳せ、国家、社会に貢献することを誓った(勤行)



西村常任理事の発声による万歳三唱



参加者に検温や殺菌消毒を行う青年部奉仕

事前の天気予報では、御霊地を含む関東一円は大雪と予報されたが、当日の御霊地は快晴に恵まれた。新型コロナウイルス感染予防のため、4カ所に設置された検温所にて検温、手指の消毒などを行った他、林間では間隔をあげた椅子席にするなどの対策がなされた。

午前8時45分、岡野英夫理事長をはじめ本部役員らが奉告祭を執行。

午前10時、太陽精神碑前にて第1部・太陽精神碑前之儀が開催され、金剛さまが「祖先の汗と涙と肉と骨との結晶」と示された、「米」「麦」「豆」「粟」「蜀黍」の五穀がうず高く供えられた中、新型コロナウイルスの感染予防のため、本部役員のみが参列して厳粛に執り行われた。

午前11時15分、御霊地のお山にて

第2部・太陽精神碑建立記念祭式典が開式となり、国歌、太陽精神碑の歌をそれぞれ斉唱、解脱金剛尊者のみ声「五法則」を拝聴した後、岡野理事長が国旗に向かい誓願文を奏上した。

式辞に立った岡野理事長は、「家庭祭祀の意義は、家そのままが神鎮まります社であり、住まう人々は神の眷属として、神の心で生活することであります。そして最も大切なことは、自分の国のいにしえの姿や祖先の歩んできた道が、尊く清らかなものであったということの子々孫々に至るまで伝え、護りゆくことこそが、解脱金剛さまが鉄石の信念で建立された太陽精神碑に込められた御心であったと信じます」と述べ、「皇恩に報いるためにも、解脱金剛さまのご恩徳に

報いるためにも、一心を尽くして務めて参りましょう」と強調した。続く来賓祝辞では、三宮幸雄北本市長のメッセージが代読され、会員へ歓迎の挨拶の後、温かい祝福の言葉があった。最後に、西村晴雄常任理事の発声による万歳三唱をもって終了となった。

祭典の様子は青年部OBの協力のもと、インターネットを通じてライブ配信された。その中では、祭典の模様に加え、コロナ禍にあって参加した会員の喜びの声をはじめ、本会発行の書籍を紹介する売店テントや青年部による「まごころ募金」活動が伝えられた。

尚、配信された映像は解脱会ホームページの会員専用ページから視聴することができる。

令和4年度 本部全体会議

立教100年に向けて教区・支部の活性化を図る



岡野理事長よりご挨拶を頂く



活発な意見が飛び交う（北関東圏域）



圏域の活性化のため、意見交換が持たれた（中部圏域）

令和4年度本部全体会議が1月29日に行われ、本年も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、本部道場をメイン会場に御霊地をはじめ各直轄道場の全国6ヵ所を繋ぐオンライン開催となった。

午前10時半に開会。岡野英夫理事長は挨拶の中で「コロナ感染症をはじめ気候変動などの危機的状況は人類の魂の覚醒と霊性の浄化を促す神の慈愛として受け止め、困難な状況を工夫と努力で乗り越え、大きく成長していかなければなら

ない。私たちが学んでいる解脱は真理法則であり、偉大な教えである。全会員の真心を結集して、怨親平等供養を厳修し、春秋の大祭に催行される萬部供養によって、コロナ関係の諸霊が成仏、鎮霊するように祈りましょう。必ず感染症が収束に向かう大きな変化が起こることを信じます」と述べた。続いて、宮坂保徳教務局長からの「今後の布教活動について」を受けて、各会場で「コロナ後の支部活動」について圏域毎のディスカッション

が行われた。

最後に組織開発・会規改正委員長の早川廣美常任理事より立教100年を見据えて各圏域内の布教拡充と教区、支部の活性化、人材活用を図ることを目的に、本年末の各圏域から理事選任に際しての圏域毎の人員割などが伝えられ、さらに詳細は3月末に改めて発表するとの伝達事項があった。

更なる圏域の活性化を図り、潜在の力を発揮すべき新たな出発点となった。

令和4年 節分会

コロナ禍の中、福をいただき、幸せ満ちる

昨年に引き続き、2月1日の報恩日終了後に御霊地、本部道場ならびに全国各直轄道場で節分会が行われた。今年も昨年と同様、コロナ禍を鑑みて、恒例の福引きや奉納演奏などは中止となったが、代表者による三声一声での豆まきにより春の到来を祝した。また、参加者には福銭や福だるま、福袋などのお供物が配られた。



本部道場

威勢よく福豆を撒く西村晴雄常任理事



御霊地道場

岡野英夫理事長の高らかな掛け声と共に福豆が撒かれた



湘南道場

徳田光行湘南道場長の三声一声のかけ声と共に



関西道場

早川廣美常任理事の挨拶の後、福豆が撒かれた



中部道場

参加者75名に升一杯の福豆が撒かれた



札幌道場

本年の年男2名が豆まきを行った

黒姫出張所・天茶法薬加持之儀

良質な天茶を届けるために



2月2日、解脱会の天茶を生産している長野県信濃町黒姫出張所にて、天茶法薬加持之儀が執り行われた。今回も新型コロナウイルス感染防止のため、岡野英夫理事長はじめ本部役職員のみで催行された。

例年より雪が多い今年は、黒姫出張所前に人の背丈ほどの雪の壁ができる中、午前10時30分より、黒姫工場2階御神前にて拝礼行事を行った後、製品化された天茶が積まれた特設祭壇前に移動。岡野理事長が導師となり、般若心経10巻と薬師如来真言、宝号を捧げた。

今年も、真心がこめられた良質な天茶が各家庭に届けられる。

津之守弁財天・スロープ工事

より地域に親しまれるために



解脱会本部が建つ荒木町一帯を守護されている津之守弁財天の入り口の階段をスロープに作り直す工事の起工式が、2月8日に執り行われた。スロープの完成後は、高齢者や足の不自由な方が参拝しやすくなると同時に、敷地内にある町会の防災倉庫の備品が災害時に素早く運搬できるようになる。

当日は、津之守弁財天崇敬会の稲子知義会長、西村晴雄本会常任理事、荒木町町会役員、施工業者、本部役職員が参列する中、午前11時開式。厳粛な神事が行われた後、参加者全員で土地供養を厳修、工事の安全を祈願した。

なおスロープは、3月末の完成予定となっている。

中部圏域・支部長研修会

更なる躍進に向けて研鑽

1月22日、中部圏域3教区の支部長研修が中部道場において行われ、本部より服部宇之輔常任理事が出講、33名が参加した。当日は、検温や手指の消毒など万全な新型コロナウイルス感染防止対策が施された中での開催となった。

午前10時に開会となり、まず最初に服部邦俊名古屋第1教区長が挨拶を述べ

た後、服部常任理事が「令和4年度本部布教活動方針」と「支部長の役目と圏域の役割」について講話した。

休憩を挟んで、中部圏域3教区の各教区長から教区活動方針についての発表があり、その中で各支部長に向けて支部運営に対する意識づけがあった。

研修は午前中にて終了となり、午後か



らは教区毎に更なる躍進に向けた会合となった。教区役員や支部長たちは、研修での学びを受けて活発に意見を交わし合いながら意識を共有した。

名古屋第1教区・幹事研修会

コロナ禍で何ができるか



が参加して、「令和4年本部布教活動方針」「幹事の心がまえ」「支部の活動のあり方」について学びを深めた。

当研修会は、新型コロナウイルスの影響により昨年は中止となった背景もあり、各支部の代表幹事が一堂に会して布教活動方針を共有できたことにより、とても有意義なものとなった。

中でもパネルディスカッションでは、新型コロナウイルスの影響も踏まえた上で支部幹事として自身を振り返り、今後、自分たちに何ができるかを具体的に考えた。そして、くじ引きにより選ばれたパネラーの意見や会場の参加者による様々な角度からの意見が活発に交わされ、今年の活動につながる内容となった。

1月23日午前10時より、中部道場において名古屋第1教区の幹事研修会が開催され、服部宇之輔常任理事が本部より出講の下、コロナの感染防止から各支部より2名の幹事代表

名古屋第1教区・出講員研修会

出講の大切さや心がまえを研鑽



名古屋第1教区では1月23日午後1時より、中部道場において出講員研修会を開催し、本部より服部宇之輔常任理事が出講、教区出講員14名が参加した。

参加者たちは、「令和4年本部布教活動方針」「出講員の心がまえ」「出講のあり方」について学びを深めた。

研修では、服部常任理事から令和4年本部布教活動方針について大切なポイントを踏まえた講話と、服部邦俊教区長による出講員の心がまえについて体験を織り交ぜながらの教示があった。その他、「出講の際に大切にしていること」「出講で困ったこと」などについて、出講員全員が発表。発表の後は、参加者たちが意見を交わしながらお互いに研鑽した。

コロナ禍の中でも、み教えの尊さを分かりやすく伝えていくことを出講員たちは誓い合い解散した。

神戸教区・阪神淡路大震災慰霊供養会

震災を風化させない

神戸教区では1月24日、平成7年1月17日に発生した阪神淡路大震災で犠牲となった総ての霊魂への慰霊と生命への感謝の供養会を神戸市内の須磨寺の震災物故者追悼碑前にて開催した。今回は、コロナ禍を鑑み、各支部の代表者17名が参加した。震災から27年が経過したが、犠牲となった霊魂への慰霊の心を風化さ



せることなく次代へ継承することを誓いつつ、生かされ生きている感謝を込めて真心の天茶供養を厳修した。

群馬教区大会のお知らせ

群馬教区では、4月24日にジャパンハート最高顧問「吉岡秀人先生」をお招きして、教区大会が開催されます。当日の講演は、YouTubeでのライブ配信を予定しており、全国から視聴可能です。詳細は近日、解脱会ホームページの会員専用ページでご案内いたします。

春季大祭に向けた萬部供養について

萬部供養は、金剛さまの御法力と「神宝」と呼ばれる御五法、そして陀羅尼經の功德により、^{だらに}霊魂が安霊するだけでなく、生き活きとはたらいていただける大変尊く有り難い供養です。

新型コロナウイルス感染症、東日本大震災関係および殺処分家畜に関する霊名について

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大及び鳥インフルエンザ、豚熱（豚コレラ）及び口蹄疫等で大量に殺処分された家畜並びに東日本大震災犠死者の霊魂に対する供養をお願い申し上げます。「法界無縁萬霊」以外の霊名は、「個人及びその他の霊」の欄に略号をご記入ください。

- 「法界無縁萬霊」 ●「世界人類生霊無縁之霊」（略号：世界生霊） ●「世界人類敵味方無縁之霊」（略号：世界敵無）
- 「新型コロナウイルス感染症犠牲者之霊」（略号：コロナ犠牲者）
- 「新型コロナウイルス感染症罹患者各家祖先代々之霊」（略号：コロナ患者）
- 「新型コロナウイルス感染症医療従事者各家祖先代々之霊」（略号：コロナ医療）
- 「東日本大震災犠死者之霊」（略号：東日本） ●「鳥インフルエンザ殺処分家畜之霊」（略号：鳥インフル）
- 「豚熱殺処分家畜之霊」（略号：豚コレラ）
- 「口蹄疫殺処分家畜之霊」（略号：口蹄疫）
- お問い合わせ先：調札部 TEL 03-3353-3555

Email chousatsubu@gedatsu.or.jp

春季大祭の申込〆切は4月15日
(各支部の〆切日は異なりますのでご注意ください)

青年部解脱金剛奉賛会 新設について

この度、我らが恩師である金剛さまへの恩返しの一環として、青年期ゆえに安定した財政基盤の無い学生や新社会人の方でも、生活状況に合わせた財施による徳積みができるようになりました。幸せへの道を歩ませてもらっている恩返しの一環として、会の発展に寄与し、み教えを世に広める奉賛事業に謹んで貢献させていただきます。

- 運用開始：令和4年4月1日
- 対象：18歳～30歳
※既存の解脱金剛奉賛会への入会は任意です
- 入金額：毎月1口500円から
※最高10口(5,000円)まで

○申込方法

解脱会青年本部ホームページ内の申込フォームよりお申込みください。

令和4年3月1日より申込受付を開始いたします。

URL：https://www.gedatsu-seinen.com/seinenhousan-moushikomi

※QRコードからもアクセスできます

※会員登録が完了次第、デジタル会員証が発行されます

- 入金方法：PayPay 銀行口座へ送金（振込）

- お問い合わせ：解脱会青年本部 TEL 03-3353-3707 Email gyd@gedatsu.or.jp



青年部奉賛会 QRコード

ホームページ通信

パスワード更新のお知らせ

令和4年4月1日から、会員専用ページのパスワードが変わります。新しいパスワードは、本部通信3月号と共に配布していますので、各支部でお尋ねください。

第83回 建碑祭動画配信



2月11日に開催された太陽精神碑建立記念祭のライブ配信の映像が視聴できます（詳細は1面を参照）。